

第三編 兵役の志願

一八二

（昭和十〇年六月三十日迄ニ到達スル様海軍省人事局宛送付（封筒表皮ニ何科豫備學生志願書類在中ト記入）スベシ

三、身體検査及試験（雜問）施行期日及場所

（イ） 期日 昭和十〇年八月十二日、十三日、十四日、十五日、十六日、十七日、十八日 身體検査及試験（雜問）

（ロ） 場所

仙臺 仙臺市北一番町 仙臺地方海軍人事部

東京 東京市京橋區小田原町 海軍經理學校

名古屋 名古屋市西區南外堀町 名古屋地方海軍人事部

大阪 大阪市天王寺區東高津町北ノ町 大阪府立高津中學校

福岡 福岡市西中洲 縣公會堂

四、雜件

（イ） 採用期日 昭和十〇年十月一日ノ豫定

（ロ） 志願者心得ハ海軍省人事局ニ請求ノコト（郵送希望ノ者ハ宛先ヲ記入シ且四錢切手ヲ貼附シタル封筒ヲ同封同局ニ照會スベシ）



## 結 言

諸君が、あした學窓に先生の講義を聽かるゝのとき、前線の將士は、酷暑を衝いて北、「アリ  
ムーシャン」に、炎熱を冒して、南「ソロモン」に、將又支那大陸に戦ひつゝあるのである。産  
業戰士は、工場に、或は農山漁村に、産業の増産に、開發に奮闘をつゞけつゝあるのである。夕  
べ靜かに机に倚つて豫習に復習に、餘念なきとき、諸子が少年時代、机をならべて共に學び、共  
に遊んだ友は、陸に、海に、はた空に皇國の礎石となつて次々に散華しつゝあるのである。而し  
て是等尊き犠牲を徒爾ならしめざるは、唯一に諸君が今日、先輩に譲らざるの精神を鍛鍊し、之  
に優るの學識を養ふにある。幾多諸君の先輩で、稀に見るの偉材が、あたら大陸の土に或は南海  
の藻屑と散り行かれたことだらふ、あたら人材をと惜まれるのであるが、かゝる人士が、たゞ大  
君のために、欣んで散り行く心情こそ、我國傳統の精神であり。これありてこそ、今日の戦果は  
收め得たものではあるまいか。百の英才を失つたら、千の俊敏を諸君の中より出してもらはなけれ  
ばならない。敵英米は緒戦にはまけたが、文化、産業に於て世界に其の優秀を誇るものである。  
今日の戦争が國家の總力を擧げて戦はれてゐる現代戦に於て、明日の戦闘に、明後日の建設に諸







二、海軍軍人官等表 (准士官以下略ス)

將校								官	
兵科	陸醫科	藥劑科	主計科	技術科	齒科醫科	法務科	軍樂科	看護科	看護科
海軍大將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐
海軍中將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐
海軍中將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐
海軍中將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐
海軍中將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐
海軍中將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐
海軍中將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐
海軍中將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐
海軍中將	海軍中將	海軍少將	海軍大佐	海軍中佐	海軍少佐	海軍大尉	海軍中尉	海軍少尉	海軍衛生少佐

陸軍管區表

(聯隊區司令部、兵事部)

東部										
軍管區										
師管										
聯隊區										
管轄區域										
東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	東京府
山梨縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣	山梨縣
神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣	神奈川縣
埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣	埼玉縣
千葉縣	千葉縣	千葉縣	千葉縣	千葉縣	千葉縣	千葉縣	千葉縣	千葉縣	千葉縣	千葉縣
水戸縣	水戸縣	水戸縣	水戸縣	水戸縣	水戸縣	水戸縣	水戸縣	水戸縣	水戸縣	水戸縣
宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣	宇都宮縣
前橋縣	前橋縣	前橋縣	前橋縣	前橋縣	前橋縣	前橋縣	前橋縣	前橋縣	前橋縣	前橋縣
仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣	仙臺縣
福島縣	福島縣	福島縣	福島縣	福島縣	福島縣	福島縣	福島縣	福島縣	福島縣	福島縣
新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣
金澤縣	金澤縣	金澤縣	金澤縣	金澤縣	金澤縣	金澤縣	金澤縣	金澤縣	金澤縣	金澤縣



西部													
熊本					善通寺				廣島				
福岡	沖繩	鹿兒島	宮崎	大分	熊本	高知	松山	德島	高松	山口	松江	廣島	鳥取
福岡縣	沖繩縣	鹿兒島縣	宮崎縣	大分縣	熊本縣	高知縣	愛媛縣	德島縣	香川縣	山口縣	島根縣	廣島縣	鳥取縣

中部													
姫路		大阪			京都			名古屋			金澤		
岡山	神戸	和歌山	奈良	大阪	福井	津	大津	京都	静岡	岐阜	名古屋	長野	富山
岡山縣	兵庫縣	和歌山縣	奈良縣	大阪府	福井縣	三重縣	滋賀縣	京都府	静岡縣	岐阜縣	愛知縣	長野縣	富山縣



臺灣		朝鮮											
		京城											
花蓮港	臺南	臺北	全州	大田	釜山	清州	春川	海州	新義州	光州	大邱	平壤	京城
花蓮港廳	臺南州	臺北州	全羅北道	忠清南道	慶尙南道	忠清北道	江原道	黃海道	平安北道	全羅南道	慶尙北道	平安南道	京畿道
臺東廳	高雄州	臺中州											
	澎湖廳	新竹州											

		軍管區	北部											
羅南		師管	弘前				旭川				久留米			
咸興	羅南	兵事區	山形	秋田	盛岡	青森	豐原	釧路	函館	札幌	旭川	長崎	佐賀	
咸鏡南道	咸鏡北道		山形縣	秋田縣	岩手縣	青森縣	樺太	北海道	北海道	北海道	北海道	長崎縣	佐賀縣	
		管轄區域						網走支廳 釧路市 釧路國支廳 根室支廳	檜山支廳 函館市 小樽市 渡島支廳	釧路市 日高支廳 空知支廳 石狩支廳	旭川市 留萌支廳 上川支廳 宗谷支廳			



考 備	支 那			關 東										
	廣 東	南 京	北 京	牡 丹 江	哈 爾 濱	齊 齊 哈 爾	延 吉	大 連	錦 州	通 化	奉 天	新 京	吉 林 省	新 京 特 別 市
一、軍管區又は師管は夫々當該軍管區又は師管に在る軍司令官(關東軍管區に在りては關東軍司令官)又は師團長の管轄に屬す 二、本表中支應とあるは支應長の管轄區域を示す	各陸軍兵事部ノ擔任區域ハ在支陸軍最高指揮官ノ定ムル所ニ依ル			牡 丹 江 省	濱 江 省	龍 江 省	間 島 省	關 東 州	興 安 西 省	四 平 省	奉 天 省	吉 林 省	新 京 特 別 市	
				東 安 省	北 安 省	興 安 南 省	興 安 東 省	興 安 北 省	熱 河 省	通 化 省	奉 天 省	奉 天 省	吉 林 省	新 京 特 別 市
			三 江 省	黑 河 省	興 安 東 省	興 安 北 省	錦 州 省	安 東 省	安 東 省	安 東 省	安 東 省	安 東 省	安 東 省	安 東 省

四、海軍區及其の管區表

海軍區	陸 上 區 畫		海 上 區 畫	
	第一海軍區	樺太、北海道、青森縣、秋田縣、岩手縣、宮城縣、福島縣、茨城縣、千葉縣、栃木縣、群馬縣、埼玉縣、東京、府神奈川縣、山梨縣、静岡縣、愛知縣、長野縣、岐阜縣、三重縣	和歌山縣、大阪府、兵庫縣(日本海を除く)、岡山縣、廣島縣、山口縣、香川縣、德島縣、高知縣、愛媛縣、宮崎縣(有明灣を除く)、大分縣、福岡縣(遠賀郡、宗像郡界以東)の海上	樺太、北海道、青森縣、秋田縣、岩手縣、宮城縣、福島縣、茨城縣、千葉縣、東京府、神奈川縣、静岡縣、愛知縣、三重縣の海上
第二海軍區	奈良縣、和歌山縣、大阪府、兵庫縣、(美方郡及城崎郡を除く)、岡山縣、廣島縣、山口縣、香川縣、德島縣、高知縣、愛媛縣、宮崎縣、大分縣、福岡縣(遠賀郡、宗像郡界以東の海に面する郡及市)	和歌山縣、大阪府、兵庫縣(日本海を除く)、岡山縣、廣島縣、山口縣、香川縣、德島縣、高知縣、愛媛縣、宮崎縣(有明灣を除く)、大分縣、福岡縣(遠賀郡、宗像郡界以東)の海上		
第三海軍區	福岡縣(第二海軍區に屬するものを除く)、佐賀縣、長崎縣、熊本縣、鹿兒島縣、沖繩縣、朝鮮、臺灣	福岡縣(第二海軍區に屬するものを除く)、佐賀縣、長崎縣、熊本縣、鹿兒島縣、宮崎縣(有明灣)、沖繩縣、朝鮮、臺灣の海上		
第四海軍區	山形縣、新潟縣、富山縣、石川縣、福井縣、滋賀縣、京都府、兵庫縣(美方郡、城崎郡)、鳥取縣、島根縣	山形縣、新潟縣、富山縣、石川縣、福井縣、滋賀縣、京都府、兵庫縣(日本海)、鳥取縣、島根縣の海上		



### 追 録

#### 昭和十八年採用陸軍委託生徒召募

細部ニ付テハ陸軍依託學生依託生徒規則ニ依ル但シ本告示中同規則ト異ル事項ニ付テハ本告示ニ依ル

一、志願者ノ資格及年齢左ニ掲グル學生又ハ生徒ニシテ昭和十七年十月（依託生徒志願者ニ在リテハ昭和十八年四月）以後ニ於テ各學年（修學年限四年ノ工業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校及修業年限五年ノ醫學專門學校ニ在リテハ第一學年ヲ除ク）ニ在學シ依託學生ニ在リテハ昭和十七年三月三十一日、依託生徒ニ在リテハ昭和十八年三月三十一日ニ於ケル年齢二十七年（衛生部依託學生ニ在リテハ二十八年）未滿ノモノ

(イ) 技術部依託學生大學令ニ依ル大學ノ工學部ニ於テ航空學、船舶工學、機械工學、機械工學、造兵學、電氣工學、通信工學、冶金學、金屬工學、應用化學、工業化學、火藥學、燃料化學、建築學若ハ土木工學（以上之ニ類スルモノヲ含ム）ヲ修ムル學生、理學部ニ於テ物理學、化學、地質學若ハ礦學（以上之ニ類スルモノヲ含ム）ヲ修ムル學生又ハ農學部ニ於テ農藝化學若ハ農林化學ヲ修ムル學生但シ農學部ニ於テ農藝化學若ハ農林化學ヲ修ムル學生ヨリハ技術部（兵技）依託學生ハ採用セズ

(ロ) 技術部依託生徒 主トシテ工業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校（研究科、選科等ノ別科ヲ除ク）ノ生徒ニシテ航空工學、造船工學、機械工學、精密機械學、工作機械學、原動機械學、電氣工學、通信工學、應用化學、冶金學、金屬工業學、燃料學、土木工學若ハ建築工學（以上之ニ類スルモノヲ含ム）ヲ修ムルモノ又ハ技術部依託學生ヲ採用シ得ル大學ノ大學豫科生徒ニシテ引續キ依託學生タリ計ル見込アルモノ但シ大學豫科生徒ヨリハ技術部（航技）依託生徒ハ採用セズ

(ハ) 衛生部依託學生 大學令ニ依ル大學ノ醫學部ノ學生

(ニ) 衛生部依託生徒 官立、公立若ハ醫師法第一條第一項第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立ノ醫學專門學校醫學科ノ生徒、官立若ハ公立ノ藥學專門學校、帝國大學臨時附屬醫學專門部、醫科大學臨時附屬醫學專門部、醫科大學附屬藥學專門部、醫學專門學校藥學科若ハ藥劑師法第二條第二項第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル學校ノ生徒又ハ官公立若ハ齒科醫師法第一條第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立ノ齒科醫學專門學校ノ生徒

(ホ) 獸醫部依託學生 大學令ニ依ル大學ノ農學部ニ於テ獸醫學ヲ修ムル學生

(ヘ) 獸醫部依託生徒 官立若ハ公立ノ專門學校又ハ獸醫師法第一條第二項第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル學校ニ於テ獸醫學ヲ修ムル生徒

(ト) 法務部依託學生 大學令ニ依ル大學ノ法學部ノ學生



二 願書類ノ提出 志願者ハ志願票ニ在學スル學校ノ大學長、學部長又ハ學校長ノ證印ヲ受ケ戶籍謄本（志願ノ際交付ヲ受ケタルモノ）及身分證明書（禁錮以上ノ刑又ハ破産ノ宣言ニ關スル市町村長ノ證明書）竝ニ最近撮影シタル名刺型寫眞（單獨上半身、脱帽トス）ヲ添ヘ依託學生志願者ニ在リテハ告示ノ日ヨリ昭和十七年十月三十一日（法務部依託學生志願者ニ在リテハ昭和十七年十二月一日ヨリ昭和十七年十二月二十五日）依託生徒志願者ニ在リテハ昭和十八年四月一日ヨリ昭和十八年四月三十日迄ニ到著スル如ク學校所在地所管ノ師團長（東京帝國大學醫學部、東京帝國大學臨時附屬醫學專門部、千葉醫科大學同附屬醫學專門部、同臨時附屬醫學專門部、東京慈惠會醫科大學、慶應義塾大學醫學部、日本齒科大學又ハ日本大學專門部（醫學科又ハ齒科ニ限ル）ニ於ケル志願者ニ在リテハ東部軍司令官、大阪帝國大學醫學部又ハ大阪帝國大學臨時附屬醫學專門部ニ於ケル志願者ニ在リテハ中部軍司令官、九州帝國大學醫學部、九州帝國大學臨時附屬醫學專門部又ハ九州齒科醫學專門學校ニ於ケル志願者ニ在リテハ西部軍司令官、北海道帝國大學醫學部、北海道帝國大學臨時附屬醫學專門部又ハ岩手醫學專門學校ニ於ケル志願者ニ在リテハ北部軍司令官、京城帝國大學醫學部ニ於ケル志願者ニ在リテハ朝鮮軍司令官臺灣、關東州又ハ滿洲國內ノ學校ニ於ケル志願者ニ在リテハ當該軍管區ノ最高軍司令官トス）ニ之ヲ差出スベシ

三 採用検査  
身體検査

依託學生志願者 昭和十七年十一月上旬  
法務部依託學生志願者 昭和十八年一月中旬  
依託生徒志願者 昭和十八年五月上旬  
夫々學校所在地最寄部隊ニ於テ實施ス  
學力検査 身體検査ニ合格シタル者ニ付筆記試験竝ニ口頭試問ヲ行フ  
實施ノ期日場所ハ別ニ指示ス

四 陸軍依託學生依託生徒規則第七條ノ規定ニ依ル師團長ヨリノ書類提出期日ハ依託學生ニ在リテハ昭和十七年十二月十日（法務部依託學生ニ在リテハ昭和十八年二月十日）依託生徒ニ在リテハ昭和十八年六月十日迄トス

五 其ノ他

- (イ) 海軍部依託學生、依託生徒ニ在リテハ志願票ニ兵技又ハ航技志願ヲ明記スルモノトス、但シ兵技（航技）志願ノモノニ在リテモ航技（兵技）ニ採用セララルコトアルベシ
- (ロ) 志願票差出後其ノ記載事項異動ヲ生シタルトキハ速カニ志願票提出部隊長ニ届出ズベシ
- (ハ) 志願票用紙及志願心得ハ學校所在地所管ノ師團司令部（臺灣、關東州又ハ滿洲國內ノ志願者ニ在リテハ軍司令部）、陸軍省、陸軍技術本部、陸軍航空本部又ハ當該學校ニ請求（郵送ノ場合ハ五錢切手



封入) スベシ

二、海軍委託學生、生徒 (軍醫學生、生徒、藥劑學生、生徒、齒科醫生徒)ノ募集

昭和十七年三月三十一日ニ於ケル年齢滿十七年以上二十七年未滿ニシテ現ニ左記第一號ノ手續ニ依リ在學ノ大學總長、又ハ學校長ヲ經テ願出ツベシ

採用ニ際シテハ左記第三號ニ依リ身體検査及試験ヲ行フ

一、志願者ノ資格

- (一) 軍醫學生及藥劑學生 大學令ニ依ル大學ノ醫學部ニ在學ノ學生
- (二) 軍醫生徒 官立若ハ公立ノ醫學專門學校又ハ醫師法第一條第一項ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校ノ生徒
- (三) 藥劑生徒 官立若ハ公立ノ大學附屬藥學專門部、藥學專門學校又ハ藥劑師法第二條第二項第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル學校ノ生徒
- (四) 齒科醫生徒 官立若ハ公立ノ齒科醫學專門學校又ハ齒科醫師法第一條第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立齒科醫學專門學校ノ生徒

二、出願手續

- (一) 志願書類 (各一通)

(イ) 願書

(ロ) 履歷書

(ハ) 戶籍謄本

(ニ) 寫眞 (無臺紙手札型脱帽ノモノニシテ概ネ最近半年以内ニ撮影ノモノナルコト)

(二) 志願書類提出先 海軍省醫務局

(三) 志願書類到達期日 昭和十七年十月三十一日迄

(四) 参照法規等

(イ) 海軍委託生生徒令 (昭和十七年九月八日勅令第六百四十六號)

(ロ) 海軍軍醫學生、藥劑學生、主計學生、造船學生、造船學生、造船學生、造船學生、法務學生規則 (昭和十七年海軍省令第十三號改正)

(ハ) 海軍造船生徒造船生徒、造兵生徒、齒科醫生徒規則

志願者ノ便宜ノ爲志願者便覽ヲ海軍省醫務局、各海軍人事部、各地方海軍人事部及關係諸學校ニ準備シアリ

三、身體検査及試験 昭和十七年十一月下旬左ノ各地ニ於テ之ヲ行フモノトシ日時及場所ノ詳細ハ大學總長

又ハ學校長ヲ經テ志願者ニ追テ通知ス



東京、千葉、新潟、金澤、仙臺、札幌、福岡、熊本、長崎、名古屋、大阪、京都、岡山、京城、奉天、臺北

### 三、昭和十八年度採用操縱候補生及航空關係豫備役下士官候補者ノ召募

(細部ニ付テハ陸軍補充令並ニ同施行規則ニ依ル但シ本告示ハ陸軍補充令並ニ同施行規則ト異ル事項ハ本告示ニ依ル)

#### (一) 採用期日

操縱候補生 昭和十八年十月一日

豫備役下士官候補者 昭和十八年四月一日

(二) 願書提出期日 操縱候補者ニ在リテハ昭和十八年八月三十日、豫備役下士官候補者ニ在リテハ同年二月二十八日迄ニ到着スル如ク志願票及戸籍謄本(願書及願書受付ヲ受ケタルモノ)ヲ陸軍航空本部長ニ提出スベシ但シ操縱候補生ニ在リテハ前項提出書類ニ最終學校卒業證明書(在學中ノ者ニ在リテハ當該學校長ノ卒業見込證明書)ヲ添附スベシ

#### (三) 採用検査期日及場所

期日 操縱候補生ニ在リテハ昭和十八年九月中旬、豫備役下士官候補者ニ在リテハ同年三月上旬トス  
場所 第八陸軍航空技術研究所(東京府立川市)



四、海軍委託學生、生徒（軍醫學生、生徒、藥劑學生、生徒、齒科醫生徒）ノ募集

昭和十八年二月九日告示

一、志願者ノ資格及年齢 左ニ掲グル學生、生徒ニシテ大學又ハ專門學校卒業期ニ於ケル年齢滿十九年以上滿二十八年未滿ノモノ

(1) 軍醫學生及藥劑學生志願ノ者 大學令ニ依ル大學ノ醫學部ノ學生

(2) 軍醫生徒志願ノ者 官立、公立若ハ國民醫療法施行令第一條第一項第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立ノ醫學專門學校又ハ帝國大學臨時附屬醫學專門部、醫科大學臨時附屬專門部ノ生徒

(3) 藥劑生徒志願ノ者 官立若ハ公立ノ醫科大學附屬藥學專門部、藥學專門學校又ハ藥劑師法第二條第二項第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル學校ノ生徒

(4) 齒科醫生徒志願ノ者 官立、公立又ハ國民醫療法施行令第二條第一項第一號ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立ノ齒科醫學專門學校ノ生徒

二、出願手續 志願者ハ左ニ依リ在學ノ大學總長、大學長又ハ學校長ヲ經テ願出ツベシ

(一) 志願書類（各一通）

(イ) 願書

(ロ) 志願申告書

追 録



- (一) 履歷書
  - (二) 戶籍謄本
  - (ホ) 寫眞(無合紙手札型半身脱帽ノモノニシテ概ネ最近半年以内ニ撮影ノモノ)
  - (二) 志願書類提出先
  - (三) 志願書類到達期日 昭和十八年四月三十日迄
  - (四) 參考法規類
    - (イ) 海軍委託學生、生徒令(昭和十七年九月八日勅令第六百四十六號)
    - (ロ) 海軍軍醫學生、主計學生、造船學生、造兵學生、法務學生規則(昭和十七年海軍省令第十三號改正)
    - (ハ) 海軍造船生徒、造機生徒、造兵生徒、齒科醫生生徒規則(昭和十六年海軍省令第二十三號改正)
  - (註) 志願者ノ便宜ノ爲志願者便覽ヲ海軍省醫務局、各海軍人事部、各地方海軍人事部及關係諸學校ニ準備シアリ
- 三、採用検査
- (一) 身體検査 昭和十八年六月上旬
  - (二) 學力検査 身體検査ニ合格シタル者ニ就キ口頭試問ヲ行フ

(三) 實施場所 東京、千葉、新潟、金澤、仙臺、札幌、名古屋、大阪、京都、岡山、福岡、長崎、熊本、京城、奉天、臺北

實施期日 場所ノ詳細ハ追テ大學總長、大學長又ハ學校長ヲ經テ志願者ニ通知ス

**最近の召募、募集** (昭和十八年四月現在)

前掲以後本書刊行迄の陸軍の召募、海軍の募集左の如し(日附は官報の月日なり)

- 三月十一日 海軍豫備學生(飛行科甲種)
- 三月十二日 海軍技術生徒
- 三月十三日 陸軍技術部、經理部、衛生部(藥劑)、獸醫部、法務部見習士官
- 三月十五日 陸軍技術候補生及軍醫候補生(陸軍)技術部、經理部、衛生部(藥劑)、獸醫部、法務部見習士官
- 四月二日 海軍軍醫見習尉官、藥劑見習尉官、海軍主計見習尉官、海軍技術見習尉官、齒科見習尉官及海軍法務見習尉官



昭和十八年七月二十日印刷  
昭和十八年八月一日發行

出文協承認430629號



著作權所有

定價金一圓參拾錢  
特別行為稅金五錢  
相當額

合計金一圓三十五錢

著者 依田 述

東京市神田區錦町二丁目三  
日本兵書出版株式會社

發行者 代表者 小川 菊 松

東京市杉並區高圓寺二ノ四一〇

印刷所 正文社 印刷所

東京市神田區淡路町二丁目九

配給元 日本出版配給株式會社

東京市神田區錦町二丁目三番地

發行所 日本兵書出版株式會社

電話神田(25) 三二一七番

振替東京六二七三九番

會員番號一二二五二九



人工30  
-80

### 「陸士豫科」受験讀本

將來の日本を双肩に荷ふ榮光の登龍門陸軍將校への第一歩である、陸士豫科士官學校生徒への案内書である、最後に試験問題及解答を附してある。

B列6判四百頁  
定價一圓五十錢  
送料 十五錢

### 海軍<sup>兵學校</sup>機關學校<sup>經理學校</sup>受験讀本

輝く海軍將校への兵學校その他の受験者のために懇切丁寧に編んだもので志望者には是非一冊備ふるべき好参考書である。

B列6判二百七十頁  
定價一圓二十錢  
送料 十二錢

### 陸軍諸學校受験案内

試験問題と模範解答

陸幼、陸士、兵器その他陸軍のあらゆる學校の受験の手引を懇切に説いたもので各學校の試験問題解答を附した書である。

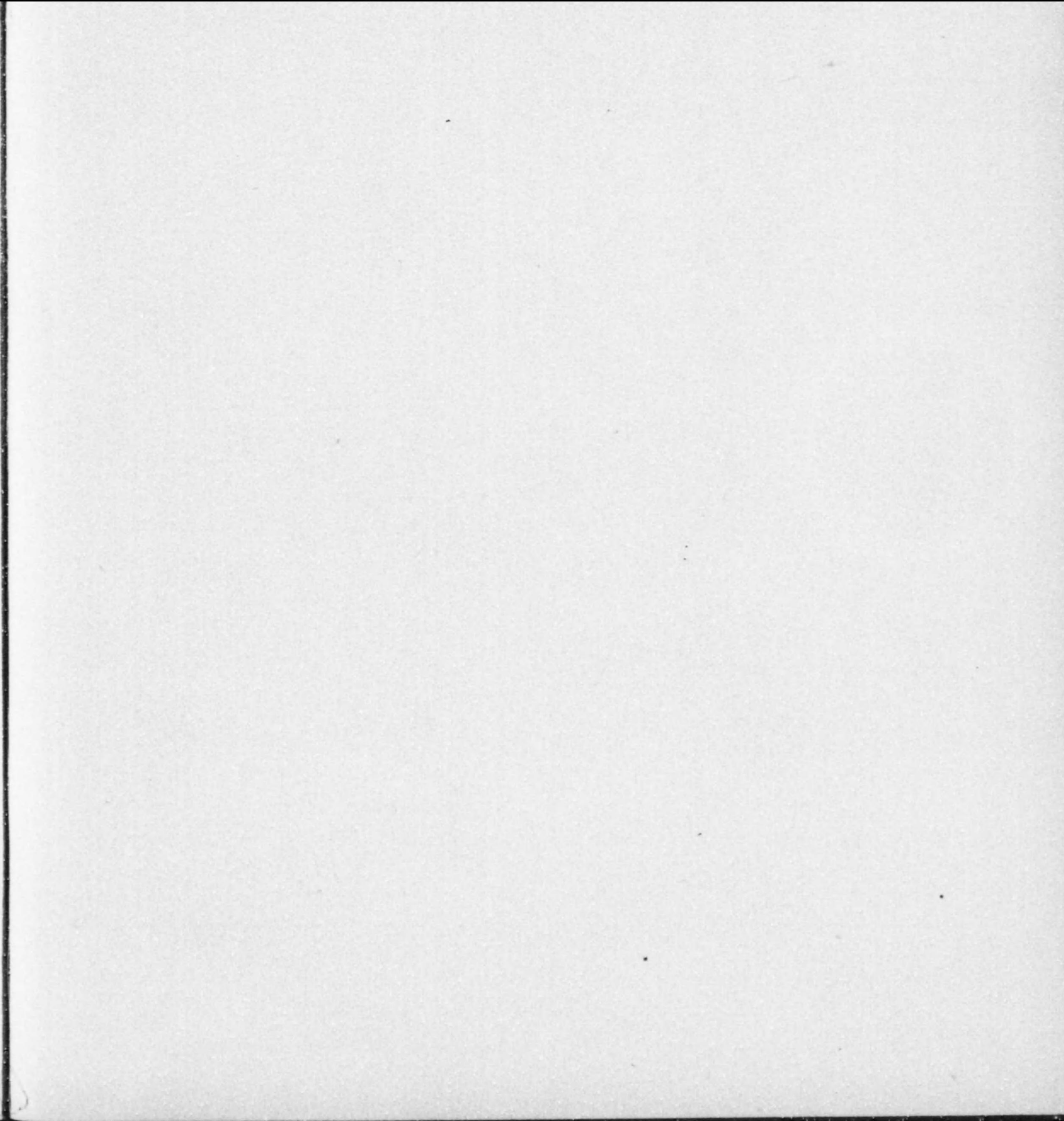
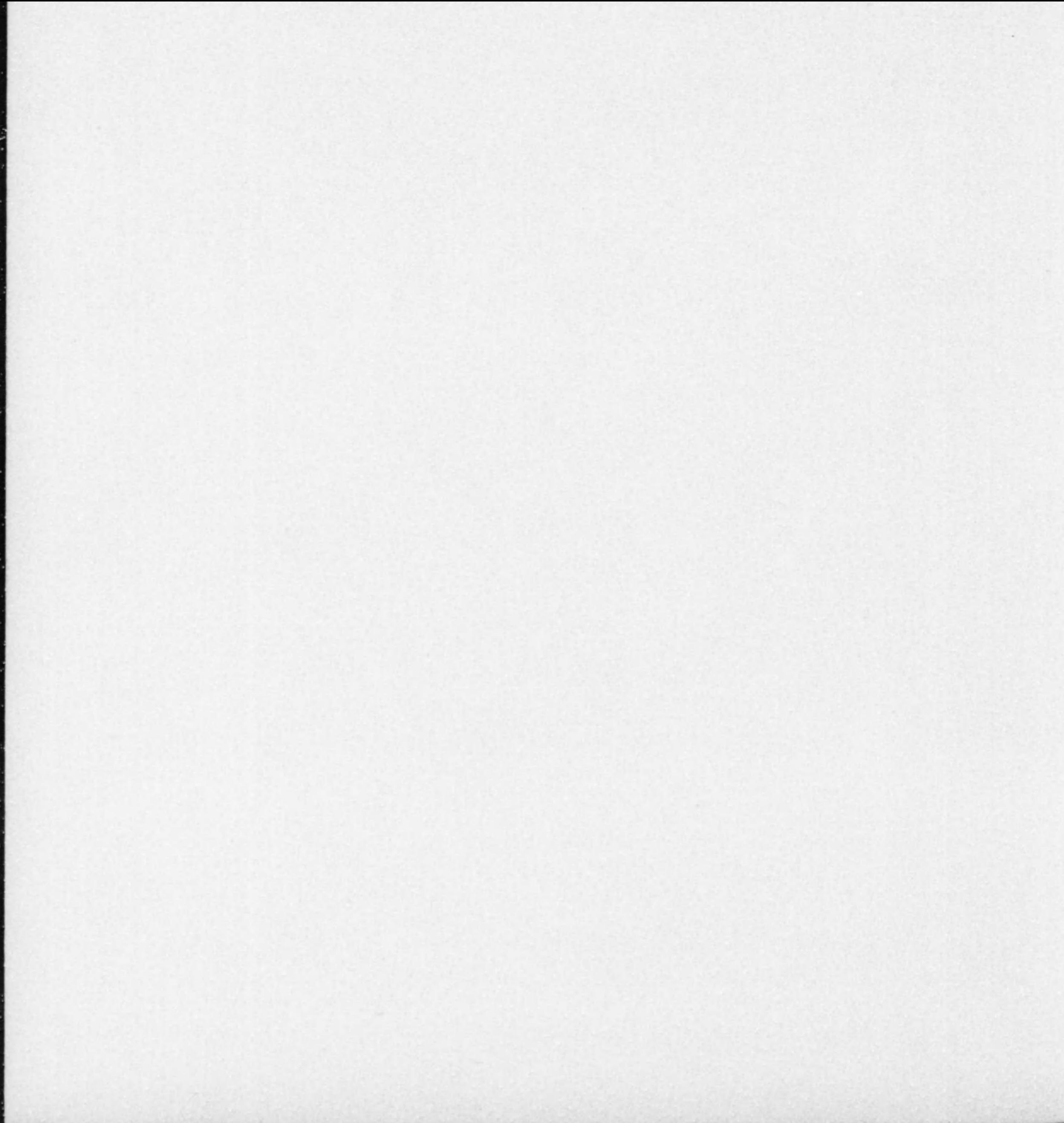
B列6判三百五十頁  
定價一圓二十錢  
送料 十二錢

### 陸軍少佐 佐藤隆秀著 少年戰車兵志願讀本

近代科學戰の華少年戰車兵たらんとするものへの最も信頼すべき指導書で、戰車一般の知識その他巻尾に少年戰車兵の受験案内をも收む。

B列6判百八十頁  
定價 七十錢  
送料 八錢











203